社会福祉法人 浄泉会 秦野市渋沢2620-2 TEL 0463 (87) 1188 発行人 西田精吾

E-MAIL

発行

yamabato@galaxy.ocn.ne.jp URL

http://yamabato.org/

口

ナウイ

ス

が

始

(第78号)

てから ごせていることに心から感謝申 感染者を一人も出さずに無事に過 すべての方々のお陰で、 域の皆様、 上げます。 職員、 最初の緊急事態宣言が発出 既に一年半以上が経ちま その他浄泉会に関わる 利用者様、ご家族、 これまで 地

代替イベントを企画し実行して ベントも例年通りとはいかな はそれも叶 典を開催する予定でしたが現況 た方々をお招きして、 来であれば、これまでお世話になっ 年を迎えることができました。 そんな中、 職員が工夫を凝らし V 今年三月には三十 ません。 各行事や いの 11 7 式 本 状 1 で 周

通じてオンラインツアーを行い ベントとして、 九月十七 日 はバス旅行の インター ーネット 代替 ま を

> 皆さんとても楽しんでおられまし どとツアーガイドの方がリアル ツアーをリアルタイムで楽しんで ト機能を利用して会話を楽しん イブ中継、 録画され いただきました。 イムで語りかけてくださったりと 「やまばと学園さーん!」 リクエストを出すこともでき たツ また午後からは 画面上でチャ 映 像や 手 じライブ タ だ ツ な ラ

さい。 ですが、 機器の扱い オンライン面会を利用したいが、 等の嬉しい報告も受けております。 利用いただい がよくわからない方がいらっしゃ 様の新たな一面を発見できました。 1 ましたら、 オンライン面会を通じて利用者 また、 毎月十名~十五名ほどご オンライン面会に 、や登録、 遠慮なくご相談くだ ている状況です。 利用方法など つい 7

ことが不幸中の幸いでございありました。人的被害がなか 八月十五日 \mathcal{O} 面の土砂崩 大雨によ れ り 被 害が 2 車 た

る様に頑張っていきたいと思

このコロ

ナ禍を乗り切

てれ

いますが、

これからも感染予防に

デイルームのテレビにオンライ 密を避けるために入所各フロ

ア

 \mathcal{O}

 \mathcal{O}

映像を映

出

前

りそうです。 ります。何分にも被害規 いためにもうし お おりますが現在地主の 願いをしながら協 配 議 を を進 時 方 お 間 カン 分が大 め 復 が け カ 7 旧 かき おの

することも検討され だ不透明です。 感染者が全国的に減 ストレスが溜まる状況であると思 利用者様、 の感染症にも警戒が必要です。 ては新型コロナウイルスに加えて、 家の意見もあります。 いで準備するべきだ」という専 要で、第六波に向けて 態を想定して備えていくことが 九月三十日で緊急事態宣言を解 インフルエンザをはじめとした 道がありますが、 本稿を執筆し 職員、 て ご家族、 先行きはまだま 減少傾向にあるいる現在、新4cm ているとの 冬場に向け 気を緩め 11 他 重 菛 な 事

コ 口

副理

岡 郎

就

人所施設長 小 室 文弘

まで地域福祉に携わり、 管理者を務めておりました。 生活基盤を整備し実践する為、 活される方々のより暮らしやすい 施設長、 と学園施設長に就任を致しました。 参りました。 ークで皆様と一 、内部及び市内外地域福祉ネット これまではやまばと通所センター 度七月一日付を以てやまば やまばとグループホーム 緒に取り組んで 地域で生 今日 法 ごしています。 受け 応能力と工夫、

設入所支援でも活かすべく、 する方々と共に切磋琢磨し んで参ります。 てきた経験を地域福祉は元より施 これからは、皆様方から学び培っ 取 り組係

さってい なっており、 りご利用者に於いては今までと異 なる生活スタイルで過ごすことと また、 ,ちながらも元気に過ごしてくだ 現在コロ ように状況を捉え日々 個々に様々な想いを 年半前 ナ 禍 0 はこの様 状況もあ 渦

索しながら毎日が 過ぎていきました。 はこの くか、 状況を 模



施設長

七月

日

よりやまばと通

所 セ 通所施設長

横 Ш

和紀

やまばと学園

至っていると実感すると共に、 利用者、ご家族、職員、 環境変化等に対する人としての適 生活を送る手段を構築し日々を過 これはさまざまな 努力があり現在に しみを持って 関係、 ける _"

> うお願い申し上げます。 今後とも宜しくご指導賜り

の収束が望まれますが、

朝晩の冷

さて一日も早いコロナウィ

ル

ス

事業所管理者に就任致しました。

Ĺ

ム管理者・やまばと学園相談支援

施設長・やまばとグルー

プホ

す

が、

日常のことをその

まま楽

めることの大切さをコロナ禍

は

止めながら、

楽

現在、 した。 で生活するご利用者の想いを大切 明性のある施設運営の継続と施設 法人内及び施設入所支援に於ける 法人の歴史をしっかりと受け止 方々に感謝しております。 浄泉会は創立三十周年を迎えま い四季を皆で 感受性を育み、 私自身これまで歩んできた 今後の諸課題を整理し、 感じながらこ 日本の素晴 め、 透

> たいと思います。 皆で力を合せて乗り

日々が続くと思われます。

改め

越えてまい

ŋ 7 11

念がなされており、

気が抜けな

懸

ありますが、 向に転じて、

からの日々を笑顔 てまいります。

品) とや行事が中止したこともあって などを手掛けて頑張って と自分たちのペースで作業を頑張 作業を応援しております。 て地域の資源を利用して利用者の コロナ禍 皮むき、 通所センターでは日中活動とし マグネット でバザー デコパー クリップやポー 機会が減 います。 (石鹸製 落花生 いったこ んび チ

> どれもが細やかな内容でもありま 間とのひと時を楽しんでい が飲みたい物を選んでもらって仲 7 1 、ます。 力 フェ タ イ ム で 、ます。 は 自

と 質を上げること、 存在であるようにこれからも精 対応しなければならないことは山 行うこと職員 害に備え、備品の見直しや点検を 向上研修を積極的 積みですが、 に意思決定支援やサー の皆さんに生活の ように共生社会を目指して利用者 えてくれたと思っております。 まいります。 誰もが自分らしく生きてい 皆で力を合わせて運営を行 コロナから命を守ることなど 地域にとって必要な の労働環境を守るこ 幅 また未曾有の災 に受講し支援 が広がるよう ビススキル ける \mathcal{O}

ました。感染症も最近では減少 り季節の移ろいを感じる頃になり え込みを日ごとに感じるようにな

傾

大変喜ばしいことで 報道では第六波の



通所センター 施設長 横山和紀

新 人職員紹介

秋山

導ご鞭撻の程よろしくお願い ていきたいと思いますので、ご指 もあるのではと考えております。 ことになるわけですが、 囲気も全く異なる場所に踏み込む 心に働いておりました。 学生でアルバイトにて居酒屋を中 ただきました秋山一真と申します。 り入所支援員として入職させてい るという意味合いで活かせるもの ても、こちらのやまばと学園がス 皆様とよりよい学園創りに携わっ ート地点となります。 社会人としても福祉の経験とし 令和三年六月十六日よ 以前 人と関わ 業界も雰 は、 田崎

新 生活支援課 非常勤 人職員紹介

裕

後とも、 添い、安心して過ごせるようにお くお願いいたします。 手伝いをさせていただきます。 経験を活かし利用者様の心に寄り 員生活と放課後等デイサービスの 月に卒業しました。今までの会社 (さいとうまさひろ)と申します。 通信制大学で福祉を学び今年三 六月に入職しました、 皆さま方のご指導を宜し 齋藤雅 今

新 人職員紹介

生活支援課

田 崎

生海

援員として入職させて頂きまし この 生海と申します。 度、 令和三年九月一 日に支

びながら皆様とより良い学園創 経験を活かして行きたいと思いま き高齢者の分野で沢山 士として十年間 し学ばせていただきました。この 1携わって行きたいと思います。 入職するまで高齢者施設で ご指導ご鞭撻のほど宜しくお そして障がい者施設での経験 これから多くの事を学 働かせていただ の事を経験

作りお弁当を美味しそうに召し上

がっていました。

スポーツレクリエーション 竜

も出来るだけ例年に近い事をした 体を動かせたのですが、 まず初めに考えたのは園内実施 で園内実施になりました。 楽しみにしている大きな体育館で この行事のリーダーになって、 本来であれば利用者様

このコロナのご時世、

ウリングと4種目 割り、輪投げ、ボ

を決定しました。

1 中は皆、 当日は園内放送とカメラ通話を使 口 い玉入れ、くす割りを実況付でフ 顔も見せてくれました。 ア対抗戦を行ないました。 また、お昼ご飯も厨房職員 普段では見る事の出 競技 来な 0) 手

緒に例年に負けないくらい盛り 競技を通して職員も利用者様と 楽しめたイベントになり

バ

ス旅行

生活支援課

金井

齫

コロナ が毎 禍

この時期になると利用者様

は

ス旅行の季節がやってきま

と思い、色々なやり方を行事担当 利用者様が一番楽しみにしてい めるうちにくす玉 で話し合いました。 いと思いました。そして玉入れは 話し合いを進 る そわそわし、とても楽しみにし いるんだなと感じます。

で画面を見ている風景に安心と嬉 で不安もありましたが、 となります。はじめての試みの中 だきたい為、当初は移動 しさがこみ上げてきました。 ンネルが始まると利用者様が笑顔 によるムービーレ た。オンラインの動画配信サイ るオンラインツアー』となりま 急遽企画を変更し【旅助ちゃんね 急事態宣言延長となってしまい、 企画していました。あいにく、 つもと違う空気を味わっていた クリエーション いざチャ 物園

取り 様は職員の手を借りてマジックに 参加型のマジックがあり、 午後の部のマジックショー 組まれました。終始、 驚きの声が上がって 利用者 笑顔と では



楽しい催し することが出 よりです。 物 を 開 何催

活支援課 峰尾

俊

学園の利用者様及び職員 んでおります。 .も負けずに日々の学園生活を楽 いかがお過ごしでしょうか。 はコロナ

となりました。 会を開催することができました。 索している中で、 を活気づける事はできな ないものの、 はじめとしたたくさんの職員が集 支援員の協力を得てプチ花火大 当日は入所利用者様と理事長を 三階主任として、 感染症対策で交わる事はでき 会場は大盛り上 この度たくさん 何 カン いかと模 学 園全体 一がり

を企画しています。 食事会や職員個々に 在三階フロアでは月に 、よるイ ま いような 今後も今 らでにな ベント 度の

る企 うに てまい できるよ 画 が

これに慢心

せ

利用者様の

今後とも努めてまいります。

ズに沿った企画を実現できるよう

合同おやつ会 山 П

上げ、 ない中で少しでも学園全体を盛 なりました。 日にクレープ会を開 いう想いから、 満 足の 感染症の 利用者様を楽しませたいと く全体行事が行なえて の影響に この度九月二十七 ŋ する運び なかな لح VI か

4 も一苦労だったようです。 でどれも美味しそうで選ぶだけ 今回マンゴーやブルーベリーなど の皆さんはクレープといえばバナ 提供してくださいました。 に来られて出来立てのクレー ナの印象が強かったようでしたが、 してくれたのは さて、 様々な種類のクレープがある中 様」です。 今回 クレー 移動販売車 箱根クレ プ提供に協 利用者 一で学園 プを プ1 力

りが た行事を全力で満喫してくれる利 に協力していただいた事、 今回 の行事を経てたくさんの を感じさせていただきまし いる事に改めて仕事の 企画し B

てい

、ます。

も利用 と思い

者

が

利用

様 8

楽し

プホ 近況

送って、 も会うことを控え、 \mathcal{O} スク、手洗 ています。今迄面会していた方々 自粛をする生活を余儀なくされ 感染症 対策をしながらの 消毒の遂 過ぎまし 電話やオンラ

ま

す。 うな日常を送れることを祈り、 ロナワクチン接種も終え、 生活することができています。 折り合いをつけながら、 康に気を付けて、 早くコロナが収束して、 きるような生活を送っていただい のバリエーションを増やしたり ています。その中で、 環境を整え、訪問理髪や食事メニュ タンスを含め、 イン面会でのやり取りをしてい GHでは、 少しでもストレスの軽減が リビングや自室 ソーシャルディス 今を大切に過ご 利用者様は 以前の・ 前向きに 一 目 も

で Ĺ] $\overline{\mathcal{O}}$

生活となるよう支 ただきたい のある の地域 カゝ

れます。

歩くには、

とても恵ま った声も聞

今年の秋は歩い

て季節を感じ

た立地の通所センター。

行きたいなぁ」とい

用 者の方からも 正 一解は、 散歩の行き先です。 「今日は霊園方

ょ

コ

健

通 所支援課 I 藤

淳

所近

记報告

皆さん張りきってます。 生の殻剥き受注作業も開始となり、 的なもので秦野市では有名な落花 の活動を頑張っております。 L たが、 秋 晴 れ 通所セン \mathcal{O} 心 地よい ターでは、 季節となり 日 ŧ 期 Þ

出

を

7

うか? す。ここで通所内の活動時 水道局…。 塔・鳩小屋・霊園・牛小屋・祈り・ 使われている言葉を紹介します。 り散策も充実して参加され 農園• また、 過ごしやすい季節にも 見晴台・うぐいす・ 何のことか分るでしょ によく 7 電 ま

面 利

ここは見晴台です♪

令和2年度 決算報告書

資金収支計算書 (自)令和2年4月1日 (至)令和3年3月31日

事業活動計算書 (自)令和2年4月1日 (至)令和3年3月31日

勘定科目		勘定科目	予算	決算	差異	勘定科目		勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)−(B)
		障害福祉サービス等事業収入	515,928,936	517,310,048	△ 1,381,112		Ι.	障害福祉サービス等事業収益	517,310,048	509,932,221	7,377,827
		借入金利息補助金収入	147,000	147,000	0		収	経常経費補助金収益	1,637,024	417,139	1,219,885
	収	経常経費寄附金収入	1,763,974	1,637,024	126,950	l.,	一益	その他の収益	1,902,821	1,908,872	△ 6,051
	入	受入利息配当金収入	0	3,797	△ 3,797	サー	-				
常経		その他の収入	4,906,500	4,792,325	114,175	Ľ		サービス活動収益計 (1)	520,849,893	512,258,232	8,591,661
費		経常収入計 (1)	522,746,410	523,890,194	△ 1,143,784	ス		人件費	387,762,089	373,727,701	14,034,388
1=		人件費支出	385,740,704	384,316,589	1,424,115	活動		事務費	72,952,589	70,230,450	2,722,139
よる		事務費支出	76,081,299	72,952,589	3,128,710	増	費	事業費	39,645,892	40,571,737	△ 925,845
収		事業費支出	41,857,070	39,645,892	2,211,178	減	l_	減価償却費	38,068,301	32,550,166	5,518,135
支	出	支払利息支出	196,470	196,470	0	の部	用	国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 10,380,543	△ 10,191,774	△ 188,769
		その他の支出	2,413,000	3,376,811	△ 963,811			その他の費用	26,669	28,595	△ 1,926
		経常支出計 (2)	506,288,543	500,488,351	5,800,192			サービス活動費用計 (2)	528,074,997	506,916,875	21,158,122
	経常	活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	16,457,867	23,401,843	△ 6,943,976		Ħ	ービス活動増減差額費用計(3)=(1)-(2)	△ 7,225,104	5,341,357	△ 12,566,461
		施設整備等補助金収入	900,000	1,296,000	△ 396,000	#	l.,	借入金利息補助金収益	147,000	160,000	△ 13,000
経常	-	施設整備等寄附金収入	0	0	0	Ιľ	収	受取利息配当金収益	3,797	55,236	△ 51,439
第 経	入	固定資産売却収入	0	0	0	L	一益	その他のサービス活動外収益	4,792,325	11,237,069	△ 6,444,744
費		施設整備等収入計(4)	900,000	1,296,000	△ 396,000	活		サービス活動外収益計 (4)	4,943,122	11,452,305	△ 6,509,183
1:		設備資金借入金元金償還支出	1,200,000	1,200,000	0	動	١	支払利息	196,470	213,870	△ 17,400
	\sim	固定資産取得支出	1,433,080	1,664,080	△ 231,000	外増	費	その他のサービス活動外費用	3,376,811	15,723,247	△ 12,346,436
収	出	ファイナンス・リース債務の返済支出	2,569,074	2,781,370	△ 212,296	垣減	I _Æ				
支		施設整備等支出計(5)	5,202,154	5,645,450	△ 443,296	の	Ĺ	サービス活動外費用計 (5)	3,573,281	15,937,117	△ 12,363,836
	施記	投整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 4,302,154	△ 4,349,450	47,296	部	4	ナービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	1,369,841	△ 4,484,812	5,854,653
そ		積立預金取崩収入	1,152,070	1,305,800	△ 153,730		経	常増減差額(7)=(3)+(6)	△ 5,855,263	856,545	△ 6,711,808
の		その他の活動による収入	1,850,000	1,902,821	△ 52,821		112	施設整備等補助金収益	1,296,000	2,900,000	△ 1,604,000
他の	入					特	4>	固定資産受贈額	0	5,384,300	△ 5,384,300
活		その他の活動による収入計(7)	3,002,070	3,208,621	△ 206,551	別	益	固定資産売却益	0	157,829	△ 157,829
動		積立資産支出	4,751,300	4,751,300	0	収	L	特別収益計(8)	1,296,000	8,442,129	△ 7,146,129
	支	その他の活動による支出	28,700	26,669	2,031	支の	費	固定資産売却損・処分損	4	15	Δ 11
る	出					部	١.	国庫補助金等特別積立金積立額	1,296,000	2,900,000	△ 1,604,000
収土		その他の活動による支出計(8)	4,780,000	4,777,969	2,031		Į.	特別費用計(9)	1,296,004	2,900,015	△ 1,604,011
支	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		△ 1,777,930	△ 1,569,348	△ 208,582		华	特別増減差額(10)=(8)-(9)	△ 4	5,542,114	△ 5,542,118
予備費(10)			0	0	0		期清	f動増減差額(11)=(7)+(10)	△ 5,855,267	6,398,659	△ 12,253,926
1. 附译 (10)			, in the second	ŭ	, and the same of	繰越	前	期繰越活動増減差額(12)	663,326,805	656,928,146	6,398,659
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)			10,377,783	17,483,045	△ 7,105,262	2		期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	657,471,538	663,326,805	△ 5,855,267
			•			動	基	本金取崩額(14)	0	0	0
前期末支払資金残高(12)			208.366.865	208.366.865	0	りして		の他の積立金取崩額(15)	0	0	0
1000000 日民 並及同(14)			200,000,000	200,000,000	0	差	-	の他の積立金積立額(16)	0	0	0
当期末支払資金残高(11)+(12)			218,744,648	225,849,910	△ 7,105,262	額の部		期繰越活動増減差額 18)=(13)+(14)+(15)-(16)	657,471,538	663,326,805	△ 5,855,267

貸借対照表

			令和3年3	月31日現在				
	資産の部			負債の部				
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減	
流動資産	235,383,398	218,062,339	17,321,059	流動負債	13,396,828	13,676,844	△ 280,016	
現金預金	144,117,383	122,386,351	21,731,032	事業未払金	8,478,073	9,101,352	△ 623,279	
事業未収金	87,855,355	92,551,963	△ 4,696,608	1年以内返済予定設備資金借入金	1,200,000	1,200,000	0	
未収金	0	0	0	1年以内返済予定リース債務	2,663,340	2,781,370	△ 118,030	
未収補助金	929,000	859,000	70,000	預り金	1,775	39,819	△ 38,044	
貯蔵品	1,526,980	1,357,971	169,009	職員預り金	1,049,040	554,303	494,737	
立替金	761,108	652,354	108,754	仮受金	4,600	0	4,600	
前払費用	193,572	254,700	△ 61,128	固定負債	59,873,490	60,969,630	△ 1,096,140	
固定資産	821,243,857	854,880,882	△ 33,637,025	設備資金借入金	11,700,000	12,900,000	△ 1,200,000	
基本財産	671,116,689	699,387,206	△ 28,270,517	リース債務	6,860,640	9,523,980	△ 2,663,340	
土地	123,838,993	123,838,993	0	退職給与引当金	41,312,850	38,545,650	2,767,200	
建物	547,277,696	575,548,213	△ 28,270,517	負債の部合計	73,270,318	74,646,474	△ 1,376,156	
その他の固定資産	150,127,168	155,493,676	△ 5,366,508		純資産の部			
建物	659,806	715,523	△ 55,717	基本金	116,035,850	116,035,850	0	
構築物	6,839,386	7,393,403	△ 554,017	第1号基本金	116,035,850	116,035,850	0	
機械及び装置	16,090,368	17,928,643	△ 1,838,275	国庫補助金等特別積立金	151,481,549	160,566,092	△ 9,084,543	
車両運搬具	8,705,843	11,560,734	△ 2,854,891	その他の積立金	58,368,000	58,368,000	0	
器具及ぶ備品	6,965,965	7,103,318	△ 137,353	人件費積立金	43,000,000	43,000,000	0	
建設仮勘定	0	0	0	修繕積立金	13,968,000	13,968,000	0	
有形リース資産	2,322,004	2,926,168	△ 604,164	施設•設備整備積立金	1,000,000	1,000,000	0	
権利	1,607,468	1,607,468	0	建設積立金	400,000	400,000	0	
ソフトウエア	0	30,115	△ 30,115					
無形リース資産	7,208,018	9,267,194	△ 2,059,176					
退職給付引当資産	41,312,850	38,545,650	2,767,200					
人件費積立資産	43,000,000	43,000,000	0					
修繕積立資産	13,968,000	13,968,000	0	次期繰越活動収支差額	657,471,538	663,326,805	△ 5,855,267	
施設整備等積立資産	1,000,000	1,000,000	0					
建設積立資産	400,000	400,000	0	(うち当期活動収支差額)	△ 5,855,267	6,398,659	△ 12,253,926	
その他の固定資産	47,460	47,460	0	純資産の部合計	983,356,937	998,296,747	△ 14,939,810	
資産の部合計	1,056,627,255	1,072,943,221	△ 16,315,966	負債及び純資産の部合計	1,056,627,255	1,072,943,221	△ 16,315,966	

理 事 評

状況

(案) について

令和2年度第1

次

資

金収支補正

予

〇武田

税理

士事務

所

武

 \mathbb{H}

圭子

〇花ことば歌謡教室

令和2年5月26日 理事会の状況

・令和元年度決算報告及び監事監査報告 告について 令和元年度社会福祉法人浄泉会事業報 決議 の省略

定款細則の一部改正について 「社会福祉充実残額」の算出について

就業規則の一部改正について 役員等報酬規程の一部改正について

援事業所管理者の復職について 前通所センター施設長、 G H 相談支

評議員会の開催について

令和2年9月18

候補者推薦について 理事の辞任による退任及び後任

の贈呈について 理事の退任による功労金及びに感謝状

令和2年度第一次補正予算 (案

評議員会の決議の省略について

令和2年12月18日

就業規則の 一部改正について

虐待事案における理事長等の責任につ

令和3年3月19 経営方針(案)について 令和3年度浄泉会SWOT分析、 事業計画

○藤澤

実 卓 穂

様

○古谷昌

和 田

義昭

超線様

〇瓜本

議員会開 催

令和3年度職員処遇に

諸規程の改正について

評議員会の開催告知について

評議員会の状況

令和元年度社会福祉充実計画について 収支計算書)及び財産目録について 令和2年6月19日 令和元年度計算書類 役員等報酬規程の一部改正について (貸借対照表及び 決議の省略

令和2年10月2日 理事の退任に伴う新理事の選任につ 決議の省略

令和3年3月29 日

定款の一部変更について

令和3年5月24日 監事監査の状況

一の理事

すべき事項はありませんでした。 監査報告により求められた改善

ご寄附をいただいた方々の

ご紹介

令和三年六月~九月 ご寄附をいただき有難うござい ○高橋登美雄様 公生様 〇西田 〇大森 義宣 精吾

社会福祉法人浄泉会

やまばと学園利用者支援「はとの会」

■法人設立の趣旨をより効果的に実現す

■障害者の皆様が快適で安心して安全で

を送れるよう支援しています。

年額1口

年額1口

年額1口

振込みは郵便為替で(手数料は本会負担)

口座名は 浄泉会やまばと学園利用者支援「はとの会」

やまばと学園内 はとの会係担当

〒259-1322 神奈川県秦野市渋沢 2620-2 Tel 0463-87-1188 Fax 0463-87-6876

どこの郵便局でも00220-5-14491です。

知らせ頂くようお願致します。

会員には会報「やまばと」が郵送されます。

楽しくアットホームで満足できる生活

20,000円

10,000円

3,000円

とするものです。

法人会員

個人会員

賛助会員

る為に、社会福祉諸活動を支援しよう

した。

ホー

を入れて邁進して参りますので是

左記URLからみて楽しんで

ただければ幸いです。

(山口)

○株式会社ブールミッシュ様

代表

秀男様

動

◎令和三年十月 令和三年六月~ 生活支援課 地域支援課 通所支援課 十月 課長 課長 日 . 付異動 只埜美奈子 兼 工藤 者 淳

◎入職者 生活支援課

生活支援課 齋藤

(六月十六日付) 雅裕

九月 田崎 日付 生海

浄泉会やまばと学園利用者支援

「はとの会」

の会員・賛助会員を募集しています

アルしました!

ホームページ http://yamabato.org/

メールアドレス yamabato@galaxy.ocn/ ne. jp

様 0 退 生活支援課 職者

編 後

(六月三十日付)

篠 田

侑弥

ムページ内のブログ更新に力 記

(順不同)

新しく会員になられる方はご住所を電話等でお